

手術後の腸の癒着 大建中湯が効き目

Q 五十一歳、女性。子宮がんで子宮と卵巣の摘出手術と放射線治療を受けましたが、手術後から慢性の腹痛や便秘に苦しんでいます。手術と放射線による腸の癒着のためとのこと。下剤を用いると猛烈な腹痛になります。よい漢方薬はありますか。

A 腹部手術後に種々の機能障害で悩んでいる方は実に多い。質問者のように、腸管の癒着による腹痛や便秘で苦しんでおられる方もたくさんいる。このような状態に西洋薬の下剤を処方すると、便は出てもひどい腹痛や下痢に悩まされることが多い。

こうした状態にとってもよく効く漢方薬があり、既に一般の西洋医学の医師からも評価を得てい

るものがある。それは大建中湯（だいけんちゅうとう）という処方である。薬用人参・山椒（さんしょう）・乾姜（かんきょう）・膠飴（こうい）の四つの生薬からなり、腸のぜん動運動障害によい。

手術後に限らず普段から腸の具合が悪く、冷えに敏感で、冷えるとガスで太鼓のように下腹部がふくらんで苦しいという方にも適する。

この処方は三世紀ころの中国医書に既に記されているが、腸閉そくの痛みやガスの隆起するさまを「腹の皮がむくむくと動き、まるで頭や足が、おなかの中で動きまわっているようである」と述べている。大建中湯が強すぎる人には、桂枝加芍薬湯（けいしかしゃくやくとう）を併用すると作用がマイルドになる。